

## 中国における「池田思想」研究の動向（12）

高 橋 強

### 1. 池田思想研究の学術シンポジウム等

#### (1) 第9回「池田大作平和思想研究国際フォーラム」

2015年3月2日台湾台北市の中国文化大学にて、学者や学生約400人が参加し、「地球変革の為の価値創造」のテーマのもと上記フォーラム（同大学「池田大作研究センター」主催）が開催された。同フォーラムでは15大学から25名の学者が論文発表した。

「基調報告」では、同大学の張鏡湖理事長が「世界の主要な宗教」と題し講演した。人類の文明発展は宗教、哲学や科学に由るところが大きい。アインシュタインも“宗教があっても科学がなければ暗闇で、科学があっても宗教がなければ不完全である”と述べている。哲学は理性をもって人生を肯定させ、宗教は信仰をもって希望を起こさせ、文明はそれぞれ宗教的な淵源を有している。一方、人類史上、多くの戦争が宗教間の衝突が原因で引き起こされて来たのも事実である。宗教間の敵視をいかに止揚してゆくかが、人類が共に努力しなければならない目標である。この観点から言えば、創価学会は生命を尊重し、包容力のある宗教団体なので、その運動に大きな期待を寄せることができる。

以下、「会議日程」に基づき発表論文のテーマを紹介する（以下敬称略）。

午前中、以下の分科会が開催された。

#### 第1分科会

Zosimo M.Battad “Fostering international friendship and cooperation through enhanced academic networking and cultural exchange program” (University of East-Caloocan)

Sethu Kumanan “The vision of Peace, Culture and Education of 21<sup>st</sup> Century : Value Creation Global Change” (Soka Ikeda College of Arts and Science for Women)

午後、以下の分科会が開催された。

---

Tsuyoshi Takahashi (創価大学文学部教授)

第2分科会

高橋強「人類と環境の調和を如何に構築するか—仏法の観点から」（創価大学）

林彩梅「池田大作の地球市民の教育観—青年に対する希望、団結、平和の世紀構築に向けて」（中国文化大学）

劉廣英「人類、地球、宇宙—展望と反省」（中国文化大学）

第3分科会

Virginia Benson, Richard Yoshimachi “Our Collaboration toward Daisaku Ikeda’s Dream for Humanity” (Ikeda Center for Peace, Learning, and Dialogue)

Mark Graveson “Giordano Bruno and the Hermetic Tradition” (Chinese Culture University)

Jason Goulah “Young Black Males, Faith, and a New Style of Peace Education : Expressions of Daisaku Ikeda’s Philosophy in Practice” (DePaul University)

第4分科会

陳正良「持続的に未来を発展させる青年の自律教育について」（中国文化大学）

劉廷揚「池田大作思想の企業家の自己修養に対する啓発」（高雄師範大学）

古御呈「池田大作の『平和の哲学、寛容の智慧』観」（実践大学）

第5分科会

陳尚彦「人類と環境の共存、共生、共鳴、共戦の価値創造」（萬能科技大学）

劉焜輝「池田大作とフランクの『価値創造観』比較」（中国文化大学）

王萬清「『青少年への哲学』とアドラー学派哲学の対話」（南台科技大学）

第6分科会

王吉林「宇宙の調和」（中国文化大学）

唐彦博「池田大作の国家発展観から習近平の中国の夢への挑戦と展望を語る」（台北海洋技術学院）

周健「池田大作とトインビーの対話から人類史の変遷を解析する」（中国文化大学）

第7分科会

林廷璘「池田大作の平和文化を通じた地球変革と恒久的価値創造」（致理技術学院）

巫玫慧「世界市民教育と永遠の価値創造」（台北商業大学）

鄧旭茹「平和文化と人類の幸福思想から見た我が国の栄養表示政策」（中山医学大学）

第8分科会

陳鵬仁「平和哲学と詩心」(中国文化大学)

黃大璋「池田大作の平和思想をもって新しき価値創造の時代へ」(台北城市科技大学)

李彦良「池田とベツチェイの『二十一世紀への警鐘』」(中国文化大学)

周建亨「緑色革命と心の革命」(中国文化大学)

(2)「2015 池田大作思想シンポジウム」

5月16日広東省の広州市にある広東外語外貿大学にて、「幸福を創造する力」のテーマのもと上記シンポジウムが開催された。これには日本と中国の10の大学・機関から研究者約40人が出席した。提出論文は17本であった。

基調報告においては4人の研究者より全体テーマに関する問題提起がなされたが、ここでは代表として温憲元教授の内容を紹介する。

温憲元「池田大作の幸福観の主要な観点及びその含意」:

1. 人生の目的は幸福にある。人間革命は全ての事物を幸福、希望、平和の方向に転換することができる。詳述すると、“小我”の人間革命を通して、“大我”の人間革命を実現する、即ち社会全体及び人類全体の平和と幸福を実現するということである。人間革命は池田氏の幸福観の重要な実践であり、まさに人間革命の大いなる実践は、池田氏の幸福観の思想を大いに豊かなものになっている。
2. 幸福は最も価値ある善である。池田氏の幸福概念は、牧口常三郎の“価値論”中の幸福思想である。牧口は“公益即善”論を提起したが、これこそが最も価値ある善である。そして牧口は、この最も価値ある善を実現する為に、個人の利益のみを考えるのではなく、社会全体の公共利益をも考慮すべきで、自他共の利益を実現する為に努力すべきであると主張している。これこそが最高の幸福であると見なしている。池田氏は牧口のこの主張を継承し、“自他共の幸福”を一貫して強調し、“他人の不幸の上に、自己の幸福を築かない”を提起している。
3. “恐れない”ことは最高の幸福である。“恐れない”に合致した活動は、無限によきもので、まずは一人の幸福に属するものである。しかし多数の者も徳に合致した活動を通して獲得できる生活でもある、即ち自身の努力を通して幸福は獲得できることを示唆している。
4. 幸福の基礎は人格、福運、哲学を重視する。人間の幸福は先天的に具わったものではなく、人格、福運、徳性に合致した活動により実現するものであり、その後の努力により獲得できるものである。人格は信念の力、道徳の力、智慧の力、意志の力であり、幸福を創造する主観的な条件である。また哲学の究極は信仰で、これこそが“幸福の基礎”である。

以下は提出された論文である(「予文集」掲載順、敬称略)。

陳曉春、劉範「池田大作の“教育で幸福の力を創造する”思想を論ずる」(湖南大学)

陳曉春、劉姪雲「教育の最終目標：幸福—池田大作の教育思想」（湖南大学）

陳曉春、李露霞「組織：幸福創造の力」（湖南大学）

高岳倫「教育の価値は幸福を創造する力にある」（仲愷農業工程学院）

官建生「修禪を学ぶことは幸福を創造する力である」（韶関学院）

黃順力「人間性豊かな文化社会の建設」（厦門大学）

蔣菊「幸福を創造する力である教師幸福論」（肇慶学院）

浅井康子「家庭の和楽—池田思想の中の幸福論」（広東外語外貿大学）

浅井治「我が幸福論—池田 SGI 会長との出会い」（広東外語外貿大学）

汪鴻祥「池田大作の幸福思想とその実践」（創価大学）

王麗榮「日本の大学生の徳育思想及びその実践」（中山大學）

温憲元「池田大作の幸福観及びそれに対する思索」（広東省社会科学院）

野原耕平「池田大作の幸福観の人類への示唆」（広東外語外貿大学）

袁秀華「池田大作の調和思想の形成と発展」（広西師範大学）

趙飛「池田大作の道德教育観及びその意義」（佛山科技学院）

周長山「池田大作の平和思想と中国の伝統的人間主義の淵源」（広西師範大学）

高橋強「池田大作の『幸福論』序論」（創価大学）

### （3）池田大作思想研究フォーラム

中国の研究者5名を招いて5月25日創価大学にて、池田思想研究フォーラムが開催された。以下、発表者の要旨を紹介する（発表順、敬称略）。

章瞬欽（厦門大学）

池田思想の内容は非常に豊富で、その中でも教育思想と世界平和観は、池田思想の重要な構成部分である。池田氏は、教育は人生の意義に対する追求であり、人間の幸福の為にありと考える。即ち「教育の根本の課題は、人間は如何に存在すべきなのか、人生はこれら人間の最も重要な問題と如何に向き合うべきなのか、を説明し回答することである」と述べる。さらに池田氏は、教育の本義は、学生に人類の幸福と社会の繁栄及び世界平和の為に、如何に知識と情報を用いるかを教えることである、と考える。池田氏の世界平和観によって、異なった国家間、民族間の交流や対話が、世界平和樹立に対して重要な意義を持つことを認識した。

洪剛（大連海洋大学）

池田氏は、人類の文明対話と生命の尊厳と価値の実現の為に尽力している。そこにおいて池田氏は、平和は人類社会の共通の価値で、平和思想は人びとに普遍的に受け入れられ認められるところで、それは教育を通して養成されるべきなので、教育の全ての価値は平和追求の為に存在し、平和実現の根本的方途は、文明の対話を促進することである、と考えている。

池田氏の以下の観点は重要である。①平和と共生の世界を創造する為に主要な方途は、対話の文明を創造することである。また他者を尊重し、他者に学び協同で行動していくことも重要である。②文明の対話は、相互に尊重し認めるだけでなく、相互に交流し学び、更に共に課題に挑戦していくことである。

劉軍（湖北大学）

真実の宗教は、人を善に導き平和を追求し、時代の需要に適合し時代の潮流に順応できなければならぬ。池田氏は法華の重義に精通し、時に応じ、地に応じ、人に応じ、新しい思潮を起し、生命の尊厳の尊重、非暴力、共生思想及び世界民族主義等の平和理念を提唱している。これは即ち大乘仏教思想の現実的な表現である。

池田氏の思想は、寛容、理解、博愛に満ちており、心の中に清らかな泉が注がれ、寒中に陽光が差し込むが如くである。池田氏の解釈により、我々は仏学の智慧、儒学の孝廉、道家の超然を獲得することができる。さらに生命の開花は、それぞれの生命の軌跡を描き出し、民族の特性を形成し、それらが不断に交流し融合し、共生と平和と寛容の世界文化を創造する、との認識を得ることができる。

戴容（復旦大学）

池田氏の女性観、人生観は、根底の所では仏教理念に依拠する。例えば、男女平等は仏教の平等観に淵源があり、男女それぞれが自身の特質的平等を発揮するというのも仏法人道主義の具体的表現である。一方女性が主体性を失うと生活上の意義を持てなくなるので、男性が提起した強引な要求に留まるべきでなく、自己の主体性を確立し意識改革を不断に推進すべきである。これは即ち『法華経』の自立・自律思想から出発したもので、仏教の“全ての衆生は皆仏である”という思想に依拠している。池田氏の女性観は、仏教思想、日本民族特有の柔軟の思惟モデル及び現代社会に対する透徹した認識の産物である。

王明兵（東北師範大学）

池田氏は、百を越える国や地域を訪問し、千人を越える識者と会談を行っている。対話の主題は、平和、文化、教育、宗教、環境、政治、経済、科学技術及び天文等の多方面に関わる。従って池田氏の思想は、“世界”、“人類”、“宇宙”の観点から豊かで深い特色を有する。その中で最も興味深いのは“対話主義”的平和哲学である。池田氏の“対話主義”の哲学は、文化、宗教、教育及び生態的智慧の系統的哲学体系を有する。池田氏は人間と人間の対話を強調するだけでなく、国家間の“対話”交流と平和往来に注目し、さらに人間と自然、人間と宇宙の相互関連に注目している。池田氏の“対話主義”の哲学は、人生論であり世界観、また平和学であり宗教学、さらに教育学であり生態哲学である。

(4) 池田大作思想研究フォーラム

11月27日創価大学にて、①華中師範大学「池田大作研究所」李俄憲副所長、②広西師範大学「池田大作研究所」周長山常務副所長、盧寧研究員、③中山大学「池田大作とアジア教育研究センター」王麗榮副所長、柳媛研究員による研究所活動報告並びに交流会が開催された。各研究機関からは、池田大作思想国際学術シンポジウムの開催、「自然との対話」写真展の開催、大学の研究雑誌での池田思想研究の成果発表、更には若手研究者の育成等についても活発な報告がなされた。

その中で特に李副所長の「中国では、池田思想研究は芸術や文化、経済、政治、外交、文学、言語学等多様な分野でなされ、それぞれの分野で活躍している研究者がいます。その意味で、池田氏は日本にいらっしゃいますが、池田思想研究は中国にあります」との主張は、多くの注目を集めた。

(5) その他（学部生、院生、学生団体等のシンポジウム）

① 11月14日中国文化大学にて、同大学「池田大作研究センター」主催の第3回「国際青年フォーラム」が「21世紀の平和、文化及び教育」と題して行われた。これには11の大学から約200名が参加した。発表論文は25本であった。以下、分科会順に発表者とテーマを紹介する。

「第1分科会」

葉冠麟「消費者の視点から我が国の食品安全問題を考える—平和文化経営理念を基礎として」（中山医学大学）

向焯「池田大作思想に見る指導者の風格、組織文化及び構成員の創造力」（高雄師範大学）

楊傑淇「『学は光—文明と教育の未来』の示唆から家庭、大学教育と情報化社会の観念を考察する」（中国文化大学）

馮春春「家庭教育の児童入園の憂慮に対する影響」（湖北大学）

「第2分科会」

方嘉猷「池田大作思想から保険従業員の幸福度と離職率の関係を考察する」（高雄師範大学）

呂建群「対話の芸術—池田大作の人間主義思想の『スマート・スピード開発』に対する影響」（台北科技大学）

李崧豪「コミュニティの中の管理、意思疎通及び対話」（萬能科技大学）

林小羽「池田大作人間主義思想—普遍的価値の食品安全問題に対する影響」（台湾大学）

「第3分科会」

林昱承「池田大作の人間主義から知能障害学習ソフトの特性を探求する」（中国文化大学）

葉芙蓉「童話絵本から池田大作の児童教育に対する貢献を考える」（中国文化大学）

呉季璇「世界平和を開く賢人—女性教育を論じる」（政治大学）

陳怡寧「21世紀の大学教育の未来発展の方向」(政治大学)

「第4分科会」

張芝莹「創価の人間主義思想の労働者の情緒・知力及び組織承諾に対する啓発」(高雄師範大学)

庄雅筑「対話の力—コンサルタント事務から見た池田大作思想の実践」(台北看護健康大学)

彭奕学「池田大作対話思想からユーモアと看護改善の関係を考察する」(高雄師範大学)

朝野嵩史「中日文化交流の原則—『対支文化事業』と池田大作の文化の原則比較」(東海大学)

向園園「対話の教学—学生の主体性の再考察」(湖北大学)

「第5分科会」

楊曉宜「戦後日本の挑戦と回顧—池田大作とトインビーの歴史観を中心として」(台湾大学)

林子文「音楽舞踏から池田大作の人間主義思想と実践を考察する」(台湾師範大学)

邱德承「大地の怒り—『21世紀への対話』から創価理念と台湾の環境教育問題を考察する」(台湾師範大学)

楊勝全「池田大作平和思想に基づいた知識防御を運用する研究」(中国文化大学)

「第6分科会」

陳奕勳「池田氏の影響力—効果的な情報伝達の研究」(中国文化大学)

翁愷謙「池田大作(今日の世界—対話の文明)評論」(中国文化大学)

黃葆華「池田大作人間主義思想と社会活動」(政治大学)

陳曉敏「学校、家庭、社会が育てる生態環境—学生の発展の視点から」(湖北大学)

② 12月5日、遼寧師範大学「池田大作平和文化研究所」が東洋思想読書会と共催で「生命の尊厳と教育の本質」のテーマのもと、読書交流会を開催した。これには大連工業大学、大連芸術学院、大連海事大学、大連交通大学の教職員・学生の代表が参加した。

③ 12月5日、南開大学「周恩来・池田大作研究会」(学生団体)が創価大学中国研究会訪中団と共に「中日青年平和友好交流会」を開催し、青年と人生・幸福観および中日友好、世界平和と青年の果たす役割等について意見交換した。

④ 12月12日、仲愷農業工程学院「廖承志・池田大作研究会」(学生団体2015年5月30日設立)が周恩来総理と池田大作氏との歴史的会見41周年を記念して「世代代の中日友好」と題し座談会を開催した。これには同学院の学生、教職員及び中国留学中の本学の学生も参加した。

## 2. 新設の池田大作研究機関

佛山科学技術学院「池田大作思想研究所」(2014年12月設立、2015年6月開所式)

名誉所長：曾崢理事会主席、所長：萬偉成文学院院长、副院長：趙飛教授。当面は16人の研究

員により、文芸思想、人間学思想、徳育思想、文明対話思想、調和思想、エコロジー思想等の各研究が中心となる。

### 3. 池田研究の成果等

李萍、寺西宏友主編『構築 21 世紀之新文明』（人民出版社 2015 年 7 月）が発刊された。

韋立新教授（広東外語外貿大学「池田大作思想研究所」所長）が、東洋学術研究所主催の特別公開講演会にて『『東洋の知恵』の魅力—中国学術界に広がる池田研究』と題し講演した（2015 年 8 月 6 日）。

南開大学「周恩来・池田大作研究会」が雑誌「金橋」（第 5 期 2015 年 12 月）を発刊した。

なお日中友好学術研究助成プログラムで、「池田大作文学創作の主体的内包、叙述力、叙情構成、イメージ描写、内在的気品及び表現の民族観及び世界観」、「池田大作の環境思想研究」が日本滞在研究助成として採択された。